

令和 4 年度ふじみ野市立大井中学校全国学力・学習状況調査の結果と考察

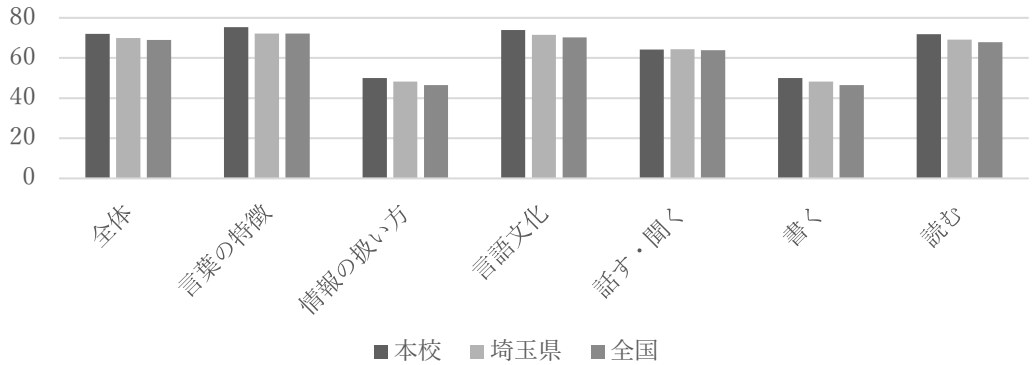
- ・実施日 令和 4 年 4 月 1 9 日
- ・実施科目 国語・数学・理科
- ・この学力調査は、令和 4 年度の中学 3 年生を対象に実施したものです。したがって、学校全体の傾向をあらわすものではありません。
- ・本分析・考察は全国（公立）及び県（公立）平均との比較をベースにしたものであり、一定の基準をもとにした優劣や、昨年度と比べた経年変化をあらわすものではありません。
- ・グラフは、成果や課題を表す領域や相関関係があるものについて掲載しました。

平均正答率（％）	本校	埼玉県（公立）	全国（公立）
国 語	72	70	69.0
数 学	57	52	51.4
理 科	51	49	49.3

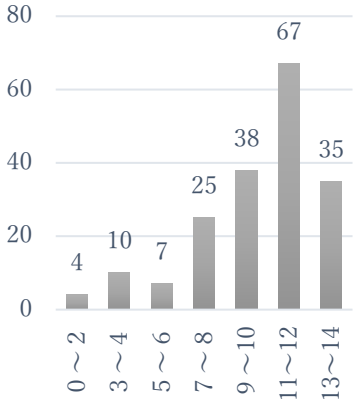
【国語】

全項目で県、全国を上回っています！

平均正答率（％）



正答数の分布（人）



〈国語で正答率が 80%を上回った問題〉

問題の概要	出題の趣旨	本校	埼玉	全国
意見文の下書きの一部について、文末の表現を直す意図として適切なものを選択する	助動詞の働きについて理解し、目的に応じて使う	86.0	83.5	82.3
漢字を書く（ <u>のぞく</u> ）	文脈に即して漢字を正しく書く	90.3	82.6	82.1
最初に書いた文字の漢字のバランスについて説明したものとして適切なものを選択する	漢字の行書の読みやすい書き方について理解する	94.1	91.3	90.1
書き直した文字の「と」の書き方について説明したものとして適切なものを選択する	漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解する	83.3	82.9	81.1

〈国語で正答率が50%以下の問題〉

問題の概要	出題の趣旨	本校	埼玉	全国
行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する	行書の特徴を理解する	44.6	40.6	39.4
農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く	50.0	48.3	46.5

〈国語の課題〉

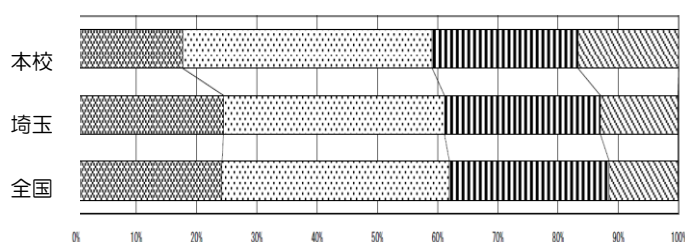
- ① 「書くこと」「情報の扱い方」…根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書くこと
- ② 「話すこと・聞くこと」…話し方の工夫について自分でかんがえること

- ① 引用の際には引用箇所「」でくくると、出典の明示、引用の適切な量について確認し、引用する目的や効果について考えるよう指導します。
- ② スピーチや話し合いにおいて意図を的確につかんだ表現ができるような指導が求められています。また、様々な資料から必要な情報を読み取り、自分の考えを相手に分かりやすく伝えるにはどのような工夫が効果的なのか聞き手の立場に立って考えられるように指導することも必要となります。

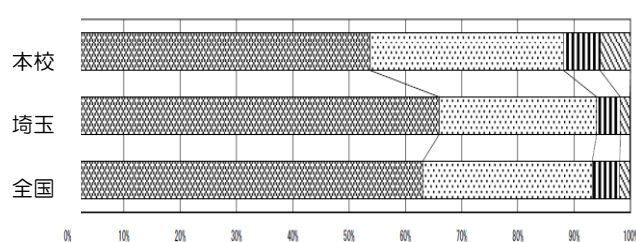
〈国語に対する意識（生徒の興味・関心・理解度等）〉

☒ 1. 当てはまる
 ☐ 2. どちらかといえば、当てはまる
 ☐ 3. どちらかといえば、当てはまらない
 ☐ 4. 当てはまらない

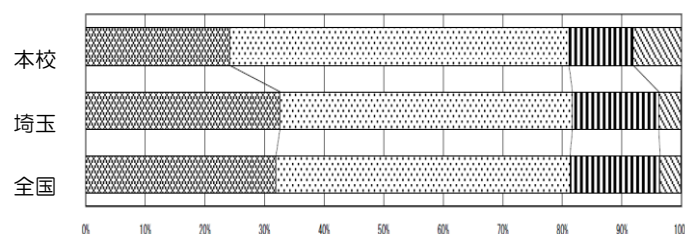
国語の勉強は好きですか



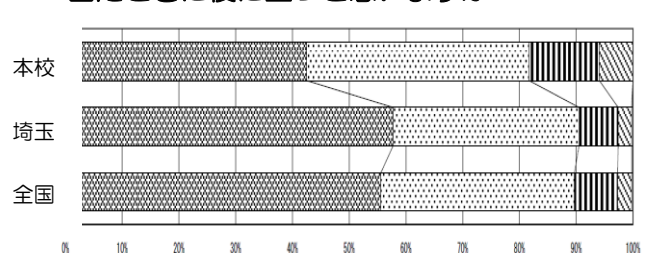
国語の勉強は大切だと思いますか



国語の授業の内容はよく分かりますか



国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



「国語の勉強は好きですか」以外の3つの項目で肯定的な回答の生徒が8割を超えていますが、どれも全国・埼玉県を下回っています。そこで、日常生活に関する内容を多く取り上げることで、国語の大切さや学習の有用性の意識を高めていきます。

【数学】

全項目で県、全国を上回っています！



〈数学で正答率が80%を上回った問題〉

問題の概要	出題の趣旨	本校	埼玉	全国
連立二元一次方程式 $2x + y = 1$ を解く $y = x + 4$	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	82.6	75.1	74.5
容器のふたを投げたときに下向きになる確率を選ぶ	多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解している	88.0	85.0	83.3
証明で用いられている三角形の合同条件を書く	証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している	81.0	75.3	73.2

〈数学で正答率が50%以下の問題〉

問題の概要	出題の趣旨	本校	埼玉	全国
変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ	一次関数の変化の割合の意味を理解している	41.3	37.0	37.9
ある偶数との和が4の倍数になる数について予想した事柄を表現する	結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる	40.8	37.7	37.6
コマ回し大会で使用するコマをヒストグラムの特徴を基に選び、選んだ理由を説明する	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	48.4	44.6	44.0
$\angle ABE$ と $\angle CBF$ の我が 30° になる理由を示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° に鳴ることの説明を完成する	筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができる	15.2	13.1	12.5

〈数学の課題〉

- ① データの活用…箱ひげ図からデータの分布の特徴を読み取ること
- ② 関数…日常的な事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること

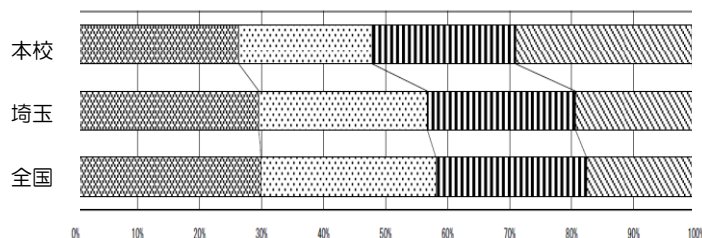
① 今後の学習にあたり、「データの活用」の領域では、複数の集団のデータの分布を比較する場面を設定し、データを整理して箱ひげ図に表し、分布傾向を比較し読み取る活動を充実させます。

② 問題解決の方法に焦点を当て、「用いるもの」「用い方」を明確にして数学的に説明する活動を充実させることも大切です。

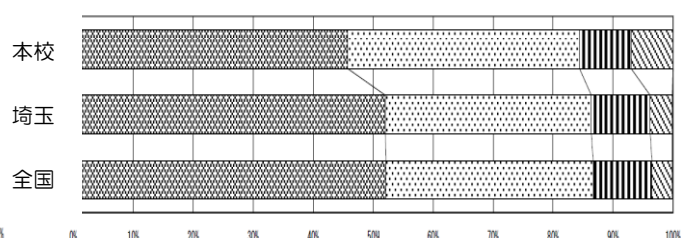
〈数学に対する意識（生徒の興味・関心・理解度等）〉

■1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない

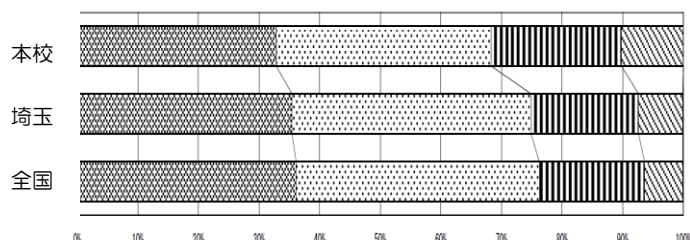
数学の勉強は好きですか



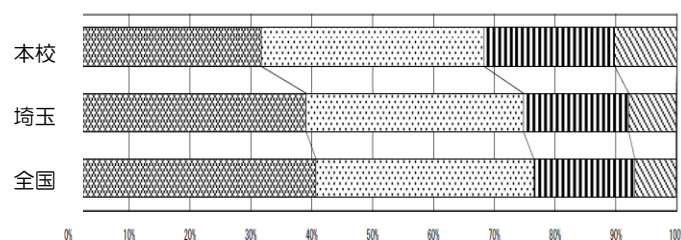
数学の勉強は大切だと思いますか



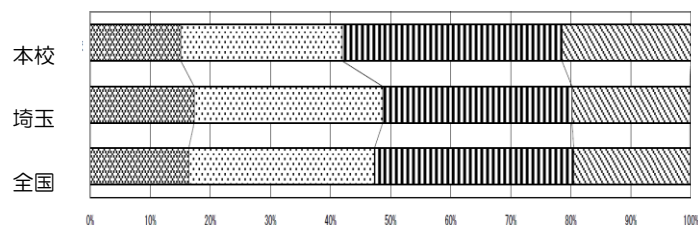
数学の授業の内容はよく分かりますか



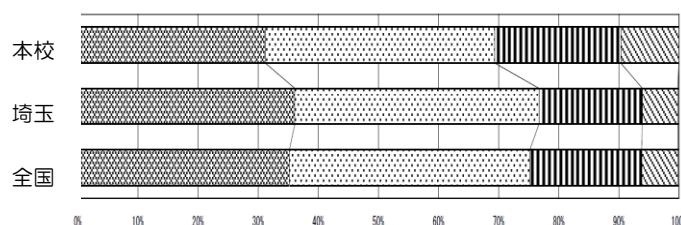
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



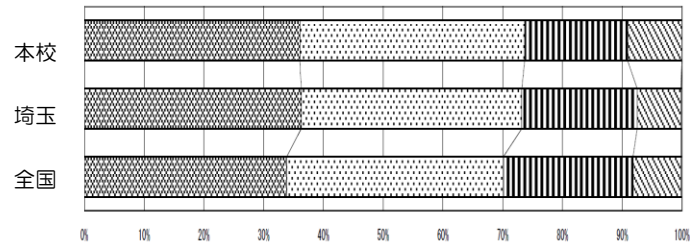
数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか



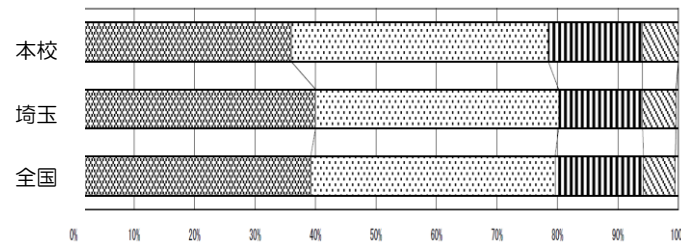
数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずに色々な方法で考えますか



数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか



数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしています



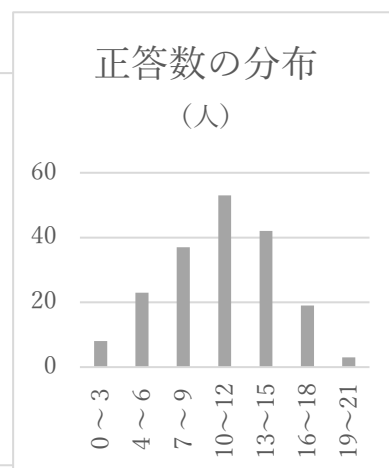
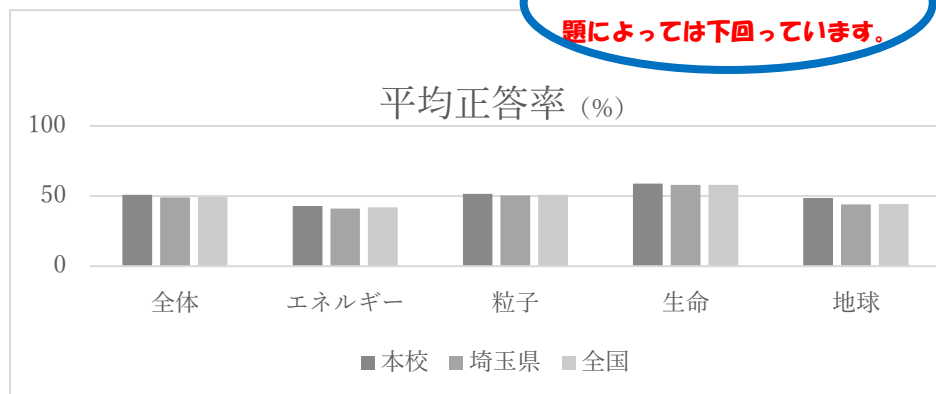
「数学の勉強は好きですか」「数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」の項目で肯定的な回答の生徒が50%をきっています。

「数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか」の項目のみ全国・埼玉県を上回っています。

そこで、数学を学習する意義を授業の中に織り込み、生活に即した視点による指導を実践し、学力向上に努めます。

【理科】

県、全国を上回っていますが、問題によっては下回っています。



〈理科で正答率が80%を上回った問題〉

問題の概要	出題の趣旨	本校	埼玉	全国
タッチパネルの反応に水が関係しているかを調べるために、変える条件と変えない条件を適切に設定した実験操作の組み合わせを選択する	モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画できるかどうかをみる	81.1	78.2	78.5
分子のモデルで表した図を基に、水素の燃焼を化学反応式で表す	化学変化に関する知識及び技能を活用して、水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すことができるかどうかをみる	87.6	79.2	80.1

〈理科で正答率が30%を下回った問題〉

問題の概要	出題の趣旨	本校	埼玉	全国
水素を燃料として使うしくみの例の全体を動かせるおおもとを指摘する	化学変化に関する知識及び技能と「エネルギー」を柱とする領域の知識及び技能を関連づけ、水素を燃料として使うしくみの例の全体を動かせるおおもととして必要なものを分析して解釈できるかどうかをみる	24.9	25.1	24.8
おもりに働く重力とつり合う力の矢印を選択し、その力について説明する	力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるかどうかをみる	17.8	13.5	15.3

〈理科の課題〉

- ①「問題の見だし」…気づいたことを基に分析して解釈し、適切な問題を見いだすこと
- ②観察・実験…水の状態変化について、知識を日常に関連づけて理解すること

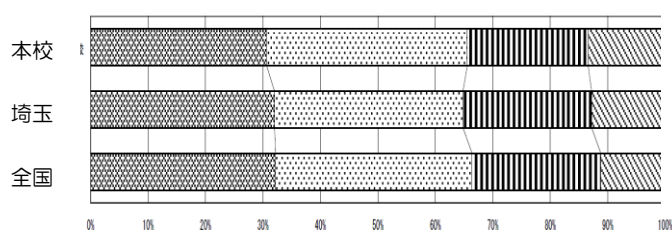
今後の学習にあたり、「エネルギー」や「粒子」の領域において、エネルギーの変換実験といった実験による観察・分析を通して事象モデルを用いて考察させることで、的確に表現できるよう指導します。

また、自然の事物・現象に働きかけて得た事実を話し合う中で、自分や他社の気づきを基に差異点や共通点を捉え、問題を見いだす場面を設定すること大切です。

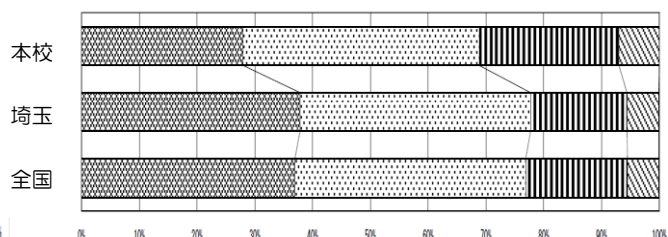
〈理科に対する意識（生徒の興味・関心・理解度等）〉

- ☑1. 当てはまる ☐2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ☐4. 当てはまらない

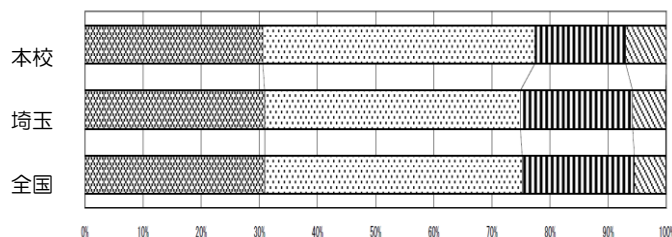
理科の勉強は好きですか



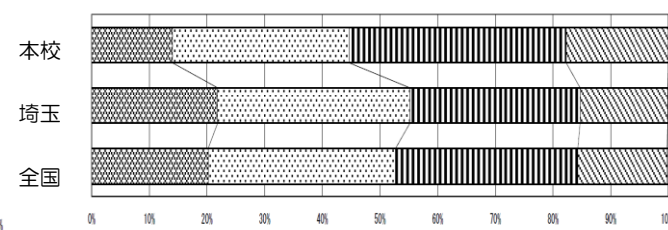
理科の勉強は大切だと思いますか



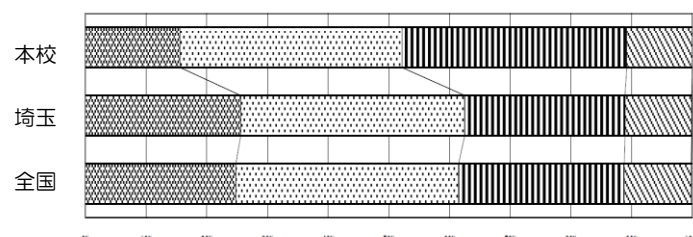
理科の授業の内容はよく分かりますか



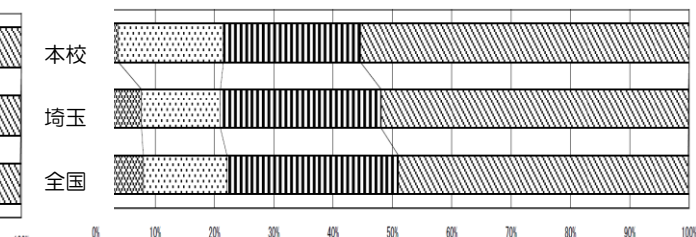
理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか



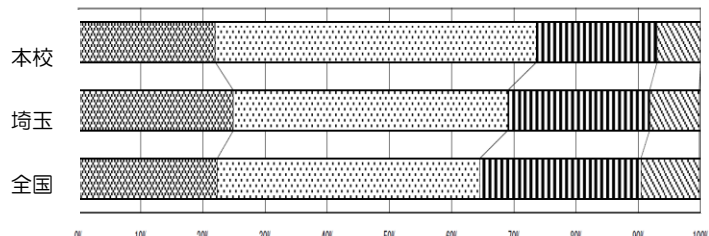
理科の授業で学習したことは、将来社会に出るときに役に立つと思いますか



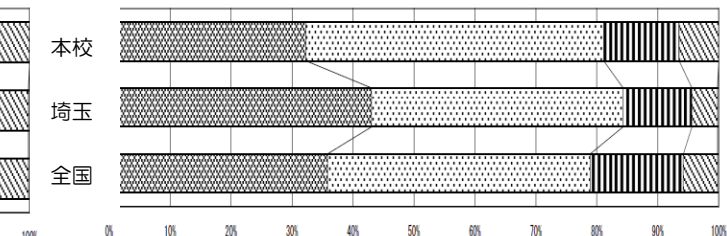
将来、理科や科学技術に関する職業に就きたいと思いますか



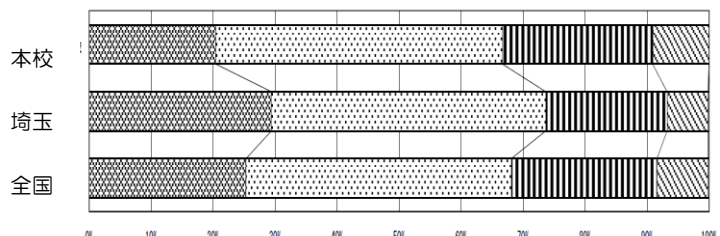
理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか



理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか



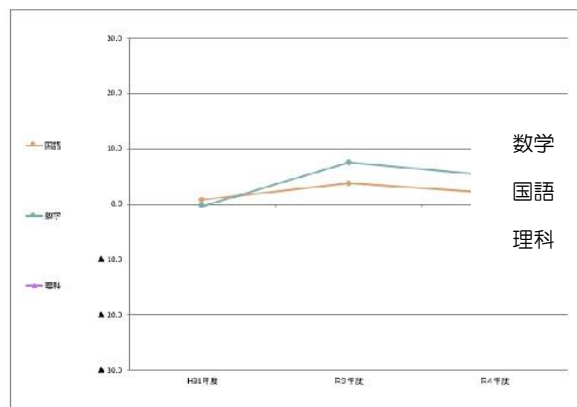
理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか



「普段の生活の中で活用」「将来、理科や科学技術に関する職業に就きたいか」の項目で50%を下回っています。

そこで、生活との関わりやキャリアについて積極的に話題にすることで、生徒の興味関心を高める指導を行います。

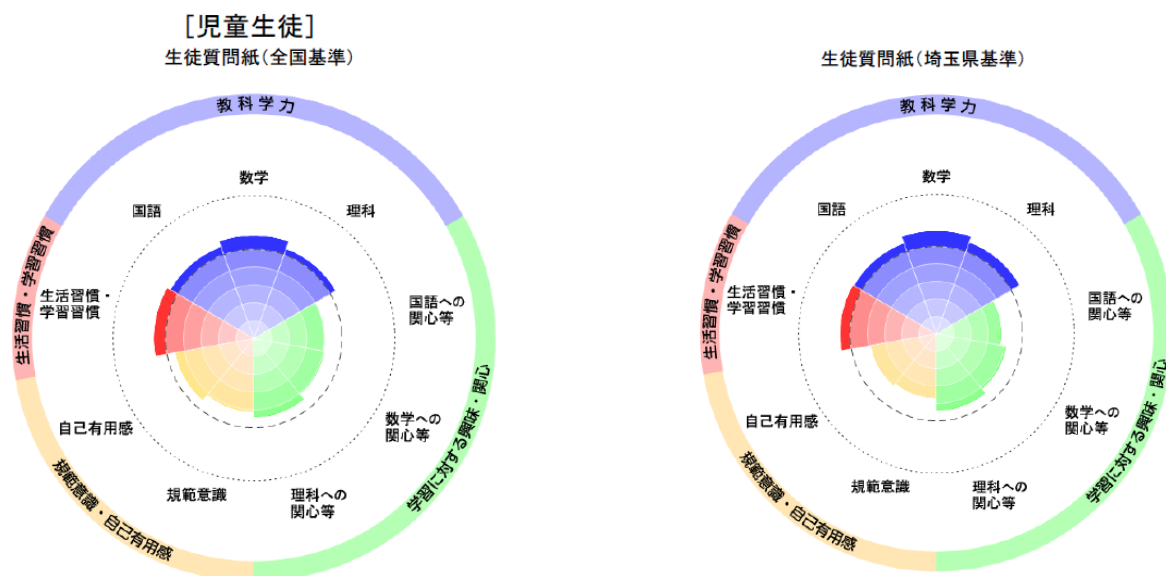
【全国平均正答率との差について】



【質問紙調査の結果と考察】

全国学力・学習状況調査では、学力調査と併せて、質問紙調査を実施しています。その結果について考察します。

〈生徒質問紙の結果チャート〉



- ・全国基準及び埼玉県基準でみると「数学」「生活習慣・学習習慣」が高い数値を示しています。
- ・全国基準及び埼玉県基準でみると３教科の「学習に対する興味・関心」が低い数値を示しています。
- ・全国基準及び埼玉県基準でみると「自己有用感」、「規範意識」が低い数値を示しています。

○今後の指導について

- ・生徒は学習習慣がついており、平均正答率も全国や県の平均を上回っています。これまでの学習を継続し、さらに思考・判断・表現力に係わる応用発展的な課題に対応できる力を育成していきます。
- ・教材研究を重ね「わかりやすい授業」を実施することで、生徒が教科に対して興味・関心をもてるよう指導していきます。

令和４年度全国学力・学習状況調査の報告書・集計結果について、文部科学省のホームページからご覧いただけます。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/index.htm

〈基本的生活習慣等〉

☒ 1. している

☐ 2. どちらかといえば、している

■ 3. あまりしていない

☒ 4. 全くしていない

3年生は、9割以上が「食べている」「どちらかといえば食べている」と回答しています。「全く食べていない」と回答したのは、3人でした。

今後も、朝食を毎日摂取できますよう、各ご家庭でのご協力をお願いします。

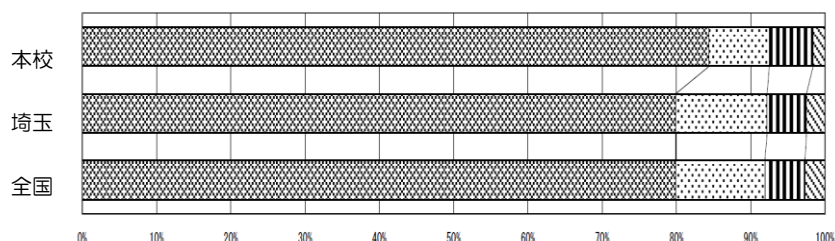
就寝時刻については、約8割の3年生が、同じぐらいの時刻に寝ていることが分かり、全国・県の平均とほぼ同じ結果になりました。

就寝時刻についても同様です。同じぐらいの時刻に「起きている」「どちらかといえば起きている」と回答した生徒は9割を超えています。

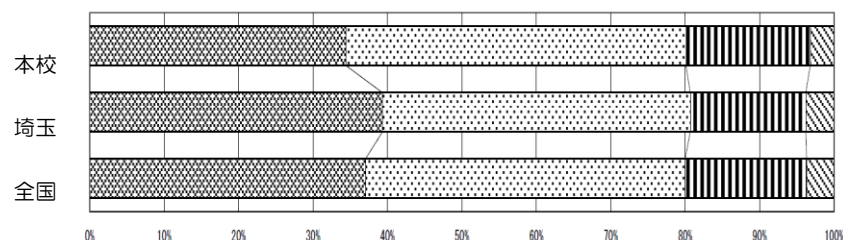
規則正しい生活が健やかな体を育みます。引き続きご協力をお願いします。

携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方の約束を決め、それをしっかり守っている生徒が7割以上います。しかし、約束がない家庭が11%あるので、家族で話し合い、約束を決めていただきたいと思います。

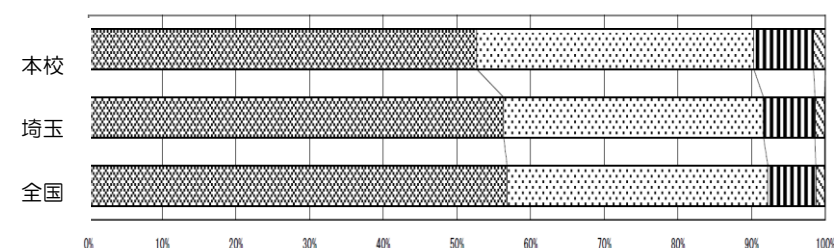
朝食を毎日食べていますか



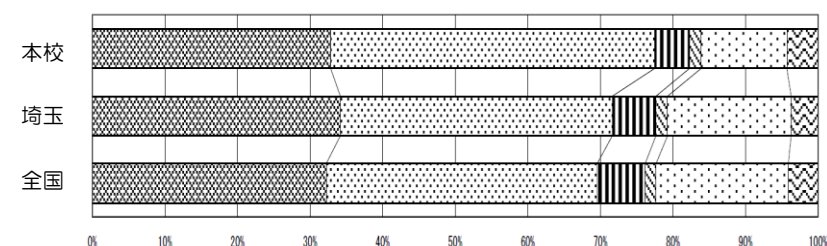
毎日、同じぐらいの時刻に寝ていますか



毎日、同じぐらいの時刻に起きていますか



携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について家の人と約束したことを守っていますか



☒ 1. きちんと守っている

☐ 2. だいたい守っている

■ 3. あまり守っていない

☒ 4. 守っていない

☐ 5. 携帯電話・スマートフォンやコンピュータは持っているが、約束はない

☐ 6. 携帯電話・スマートフォンやコンピュータを持っていない

■ その他

□ 無回答

ゲームは視力の低下や依存といった問題が報道されています。また、様々な調査で、ゲームをする時間が短い生徒は正答率が高いということも指摘されています。

教师类型	本校 (%)	埼玉 (%)	全国 (%)
具有高级职称的教师	15	15	15
具有中级职称的教师	15	15	15
具有初级职称的教师	15	15	15
具有研究生学历的教师	10	10	10
具有本科学历的教师	40	40	40
具有专科及以上学历的教师	15	15	15

SNS や動画視聴の時間の調査です。
1 時間以上使用している生徒が 16%
います。また、1 時間以上 SNS や
動画視聴をしている生徒は 7 割を超え
ています。

地域	就職先が不明	公務員	大企業	中小企業	自営・専業主婦・学生	その他
本校	18%	12%	22%	25%	15%	8%
埼玉	17%	13%	23%	24%	16%	7%
全国	16%	14%	24%	23%	17%	8%

「じぶんにはよいところがあると思いますか」の質問に、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒は7割を超えています。しかし、全国・県平均をやや下回りました。

Category	Pattern 1 (Cross-hatch)	Pattern 2 (Dotted)	Pattern 3 (Vertical lines)	Pattern 4 (Diagonal lines)
本校	38%	40%	8%	14%
埼玉	42%	40%	10%	8%
全国	38%	42%	10%	10%

Category	Pattern 1 (Cross-hatch)	Pattern 2 (Dotted)	Pattern 3 (Vertical lines)	Pattern 4 (Diagonal lines)
本校	40%	27%	13%	20%
埼玉	42%	28%	12%	18%
全国	40%	27%	13%	20%

キャリア教育をさらに充実させ、夢や目標をもった生活ができるようにしていきます。

「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」の質問に肯定的に回答した生徒は約8割で、全国・県平均よりも低い結果となりました。

諸活動の中で、最後まで粘り強く取り組む態度を育成していきます。

「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」の質問に肯定的に回答した生徒は約6割で、全国・県平均よりも低い結果でした。チャレンジする場面を増やしていきます。

「人が困っているときは、進んで助けますか」の質問では肯定的な回答が8割を上回っていますが、国・県平均を下回っています。

道徳教育を中心に他を思いやる「豊かな心の育成」に取り組めます。

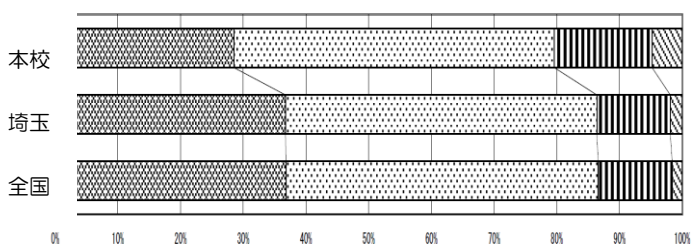
95%の生徒が、「いじめはどんな理由があってもいけないこと」だと思っていますが、全国・県平均よりやや少ない割合になっています。

「いじめはい、いつでもどの子にもどの学校でも起こりうる」ことを念頭におき、指導していきます。

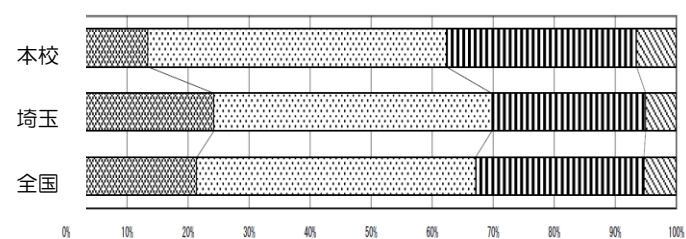
「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問には、9割以上の生徒が肯定的な回答をしています、全国・県の平均をやや下回っています。

「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問では、約76%が肯定的な回答でした。2割の楽しいと思っていない生徒も楽しく学べる学校づくりに努めてまいります。

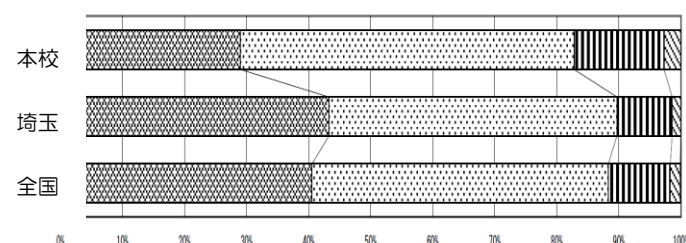
自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか



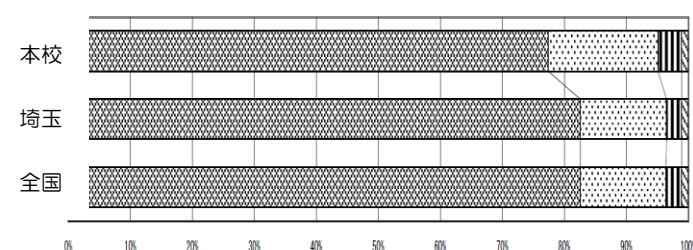
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦しますか



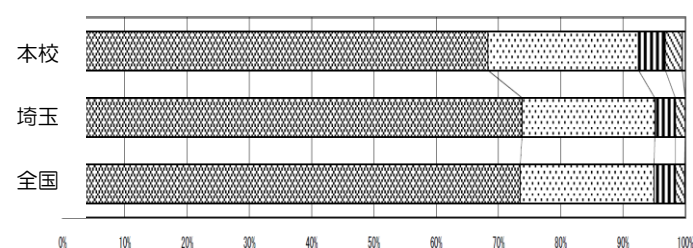
人が困っているときは、進んで助けていますか



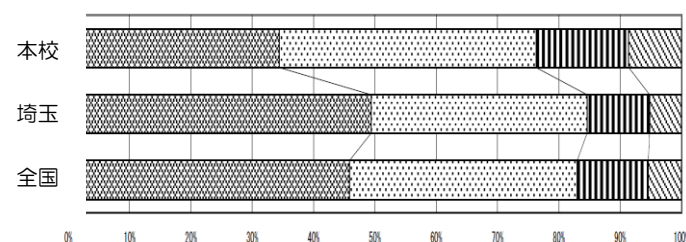
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



人の役に立つ人間になりたいと思いますか



学校に行くのは楽しいと思いますか



「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と思う生徒は、約 7 割いますが、全国・県平均よりやや低い結果となりました。

教科指導や学級会活動の中で議論や討論をする場を設け、考える楽しさを伝えてきます。

「友達と協力するのは楽しい」と思う生徒は、87%で、全国・県平均よりやや低い結果となりました。

体験的な活動や学校行事で、協力して取り組む場面を多く設定し、さらに高めていきます。

〈学習習慣、学習環境等〉

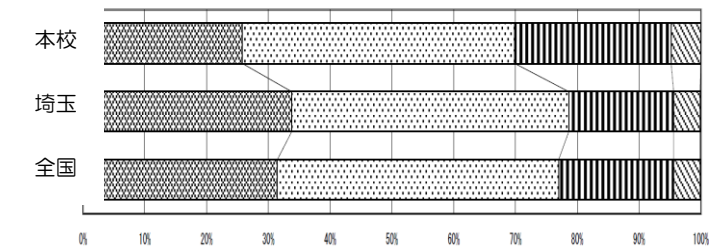
家で計画的に勉強できている生徒は約 7 割いて、全国・県平均を上回っています。

本校では、定期テスト前に家庭学習計画表を作成させ、勉強に取り組ませています。ご家庭においては、普段からできるようにご協力をお願いします。

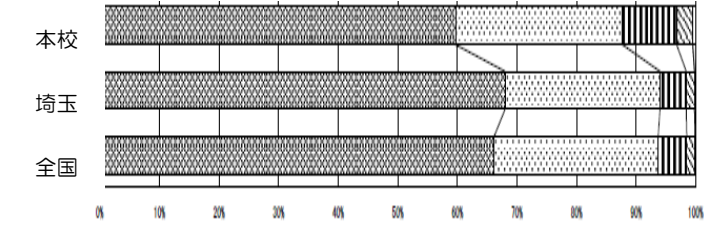
平日 1 日当たりの家庭学習の時間についての質問です。3 時間以上、2 時間以上、1 時間以上の項目で全国・県平均を上回り、8 割の生徒が 1 時間以上勉強しています。

これからも、家庭学習の大切さや家庭学習の仕方などを指導していきます

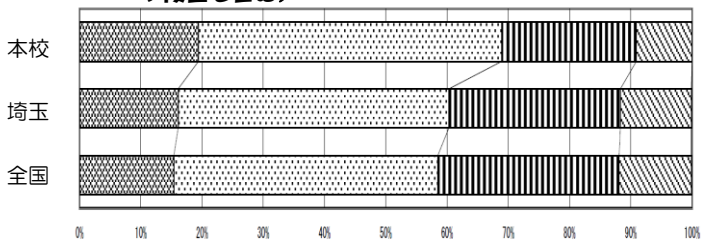
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



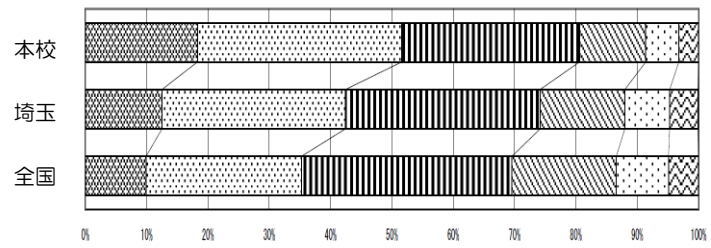
友達と協力するのは楽しいと思いますか



家で自分で計画を立てて勉強していますか(学校の授業の予習や復習を含む)



学校の授業時間以外に、普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



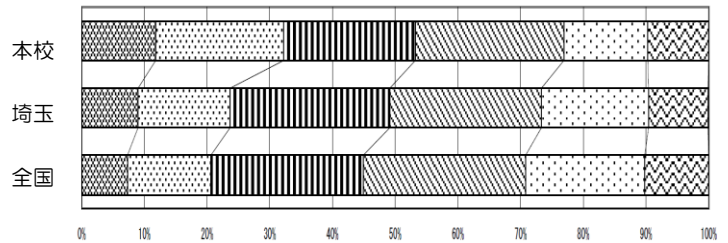
- ☒ 1. 3 時間以上
- ☐ 2. 2 時間以上, 3 時間より少ない
- ☐ 3. 1 時間以上, 2 時間より少ない
- ☐ 4. 3 0 分以上, 1 時間より少ない
- ☐ 5. 3 0 分より少ない
- ☐ 6. 全くしない
- ☐ その他
- ☐ 無回答

休日 1 日当たりの家庭学習についての質問です。全国・県平均を上回り、77%の生徒が1時間以上勉強しています。

3時間以上、4時間以上と勉強している生徒がいる一方で、「全くしない」生徒が約1割います。

引き続き家庭学習の大切さを指導していきます。

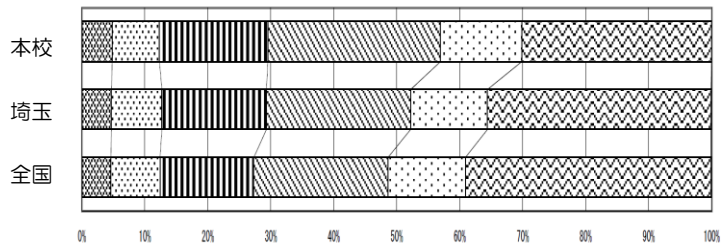
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



- ☐ 1. 4時間以上 ☐ 2. 3時間以上、4時間より少ない ☐ 3. 2時間以上、3時間より少ない ☐ 4. 1時間以上、2時間より少ない
☐ 5. 1時間より少ない ☐ 6. 全くしない ☐ その他 ☐ 無回答

1日当たりの読書量の調査です。「全く読書をしない」という生徒は、全国・県平均を下回り、30分以上読書している生徒は、全国・県平均とほぼ同程度となっています。本校では毎日10分間の朝読書を実施していますが、これからも読書指導に取り組んでいきます。

学校の授業時間以外に、普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)



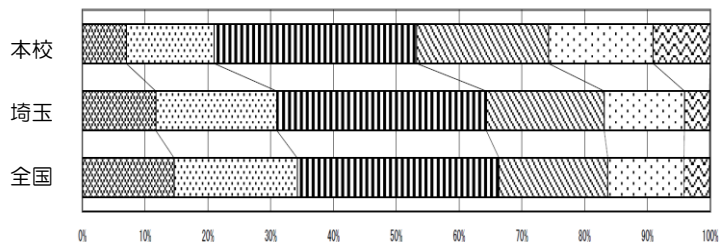
- ☐ 1. 2時間以上 ☐ 2. 1時間以上、2時間より少ない ☐ 3. 30分以上、1時間より少ない ☐ 4. 10分以上、30分より少ない
☐ 5. 10分より少ない ☐ 6. 全くしない ☐ その他 ☐ 無回答

家庭にある本の冊数の調査です。全国・県平均と比べると、たくさん本がある家庭が多くあります。

このことと、前問の読書量との関係もあると思われますが、各教科の正答率とも相関関係があり、特に国語は家に本が多くあるほど正答率が高くなると、様々な調査から分かっています。

ご家庭においては、読書のできる環境づくりを意識していただければと思います。

あなたの家には、おおよそどのくらい本がありますか(一般の雑誌、新聞、教科書は除く)



- ☐ 1. 0～10冊 ☐ 2. 11～25冊 ☐ 3. 26～100冊 ☐ 4. 101～200冊 ☐ 5. 201～500冊 ☐ 6. 501冊以上 ☐ その他 ☐ 無回答

〈地域や社会に関わる活動の状況等〉

☐ 1. 当てはまる
 ☐ 2. どちらかといえば、当てはまる
 ☐ 3. どちらかといえば、当てはまらない
 ☐ 4. 当てはまらない
 ☐ その他
 ☐ 無回答

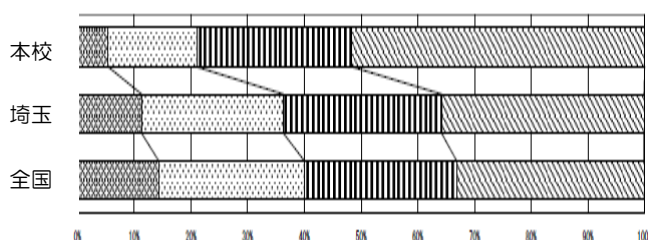
地域の行事への参加については、約2割の生徒が肯定的な回答をしました。全国・県平均よりも低い結果となっています。

新型コロナウィルス感染防止から、地域の行事が縮小され、参加できない状況もあると思われます。

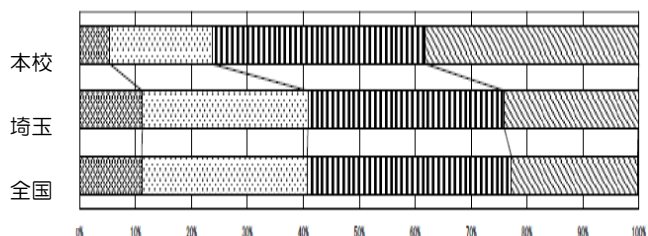
「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」も約2割の生徒が「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答しました。また、国・県平均よりも低い数値となっています。

今後は、地域協働学校（ふじみ野市版コミュニティースクール）を機能させ、学校運営協議会や町会長様を通して、地域行事への参加を呼びかけていきたいと思っておりますので、ご家庭や地域でもご協力をよろしくお願いします。

今住んでいる地域の行事に参加していますか



地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか

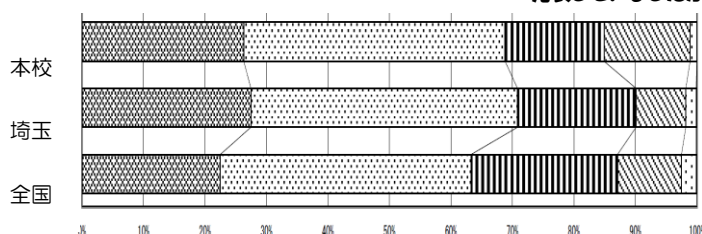


〈主体的・対話的で深い学びの点に関すること〉

約7割の生徒が「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章等工夫した」と答え、県平均は下回ったものの、全国平均で上回りました。

学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を、さらに実施していきます。

1, 2年のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



☐ 1. 発表していた
 ☐ 2. どちらかといえば、発表していた
 ☐ 3. どちらかといえば、発表していなかった
 ☐ 4. 発表していなかった
 ☐ 5. 考えを発表する機会はなかった
 ☐ その他
 ☐ 無回答

「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問に、肯定的に回答した生徒は、8割を超え、全国平均よりやや高い結果になりました。

積極的な取り組みは、正答率の向上につながるという調査結果があります。授業の中で、自ら考え解決する態度の育成に努めます。

「各教科で学んだことをいかしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」の質問に、約7割の生徒が肯定的に回答し、全国平均を上回りました。

「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の質問に約8割の生徒が肯定的な回答をしました。

今後も、指導方法の工夫。改善に努めてまいります。

〈ICT 機器の使用等〉

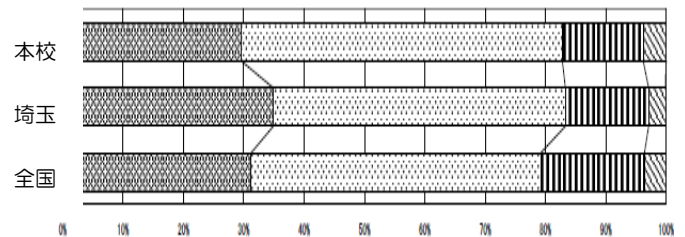
☐ 1. ほぼ毎日
 ☐ 2. 週3回以上
 ☐ 3. 週1回以上
 ☐ 4. 月1回以上
 ☐ 5. 月1回未満
 ☐ その他
 ☐ 無回答

1, 2年生の時に、授業でどの程度 PC・タブレットを使用したのかについては、「週1回以上」が38%でした。全国・県平均とより使用頻度が低い結果となりました。

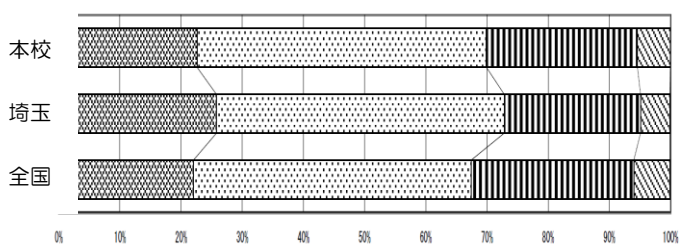
「授業中に自分で調べる場面で PC・タブレットなどをどの程度使っていますか」の質問では、「週1回以上」が41%でした。

本校では、今後も、ICT 機器活用についてさらに研究を進め、積極的に活用することで、生徒の学びの質を向上させていきます。

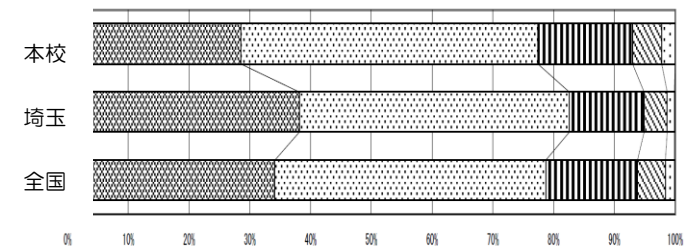
1, 2 年のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



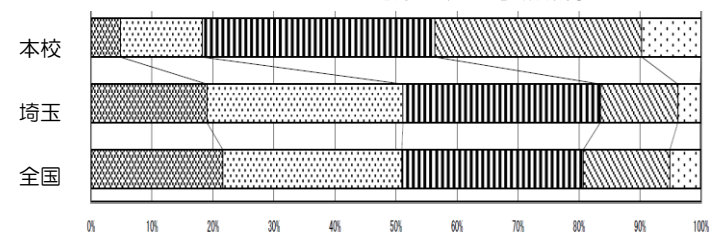
1, 2 年のときに受けた授業では、各教科などで学んだことをいかしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



1, 2 年生のときに受けた授業で PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか



学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使っていますか (インターネット検索など)

